

令和元年5月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和元年5月30日(木)午後2時00分開会 午後2時50分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1	開会	
日程第2	前回会議録の報告、承認	
日程第3	会議録署名委員指名	
日程第4	会期の決定	
日程第5	教育長の報告	
日程第6	議事	議案第21号
日程第7	報告事項	報告第13号から報告第14号
日程第8	その他	

○会議に出席した委員(5名)

1番	鹿嶽昌功	2番	吉田礼子
3番	中上之仁	4番	田口文夫
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者(8名)

学校教育部長	岡崎正文	学校教育部次長	外岡明文
教育総務課長	浅野晋司	学校教育課長	山本直也
教育研修所長	村岡智行	学校給食課長	宮城信之
教育総務課参事	上野 樹	学校教育課参事	吉田裕彦

○代表学校長(2名)

中学校校長会代表	薩摩高志
小学校校長会代表	福井加寿子

○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課	松田成行
	寺 嶋 晶 子
	藤 本 真

○会議録署名委員

教育長	鹿嶽昌功
教育委員	吉田礼子

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和元年5月第236回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(平成31年4月26日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。

なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。

会議録署名委員は、2番 吉田礼子委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和元年5月30日木曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

令和に入って最初の定例会の開催となりました。5月15日から学校園の訪問が始まっています。教育委員の皆さんには、お忙しいところではありますが、子どもたちの学習や学校生活の様子、学校園の課題等、意見交換いただいていると思います。7月4日までとなりますが、よろしく願いいたします。

それでは、私から前回の定例会以降の活動についてご報告いたします。

1 三田市立学校教科用図書選定委員会 (5/10)

4月の定例会で協議・議決いただきました「教科用図書の採択に関する基本方針」に基づき、新しい学習指導要領に沿った小学校の教科用図書などの選定に係る、第1回目の委員会を5月10日に開催いたしました。教育委員会で承認いただいた選定委員8名の皆さんに委嘱状を交付するとともに、令和2年度に使用する小学校教科用図書、特別支援学級の児童生徒が使用する一般図書などの採択についての諮問を行いました。

現在、調査委員会を組織しながら選定作業に入っているわけですが、特に小学校は全部改訂ということのでかなりのボリュームとなります。7月の定例会をめどに、公正で透明、適切な選定に努めていきたいと思っております。

2 三田市交通安全対策委員会 (5/13)

5月13日に三田警察、交通安全協会など交通安全にかかる関係団体により組織する「三田市交通安全対策委員会」が開催されました。特に今回は高齢者による運転操作ミスであったり、交差点での無理な右折運転などにより、子どもの命が失われるといった悲惨な事故直後であったことから、子どもたちの通学の安全などについて議論もありました。登下校の安全対策については大津市の事故後各学校に注意喚起させていただいたところです。また、先日の川崎市での通学途中での悲惨な事件もありました。歩行者自身・児童生徒が留意するとともに、交通安全施設の更なる整備も必要ですが、防犯といった視点からも、通学の安全・安心の確保を根本から見直していかなければなりません。

3 三田市PTA連合会総会 (5/15)

5月15日の夕方、三田市のPTA連合会の総会が、まちづくり協働センター多目的ホールで開催されました。今年度も『心豊かな子どもたちの育成をめざそう』という活動方針のもと、家庭・地域・学校と連携した取組を実施されます。

特に今年度は、8月に第67回の日本PTA全国研究大会が兵庫県で開催され、阪神地区では伊丹市で分科会が開催されます。連合会役員の皆さんをはじめ、会員の皆さんは大変であると思いますが、成功裏に終わることができるよう願っているところです。

4 兵庫県教育委員会連合会総会・全県教育委員研修会 (5/17)

5月17日、加西市で本年度の兵庫県教育委員会連合会総会と全県の研修会が開催され、教育委員の皆さんにも参加いただきました。

まず、県下の教育行政功労者表彰があり、ご欠席でしたが三田市で教育委員を務められた虫明委員も表彰者として紹介されました。総会では本年度の事業計画等承認いただき、その後の全県教育委員会研修では神戸大学大

学院の岡部先生から「学力向上について考える」という講演をいただきました。算数科に着目しての講演でしたが、無力感を学習しない、子どもたちそれぞれの特性に合った指導が必要であると感じたところです。

なお、虫明委員には22日午後、教育長室にお越しいただき、私から功労者表彰をお渡しいたしました。

5 令和元年度三田市人権を考える会総会（5/18）

5月18日、まちづくり協働センターで本年度の三田市人権を考える会の総会が開催されました。

学校からも役員とともに多くの先生が理事として参加いただいています。部落差別解消推進法第5条においても、教育と啓発の推進が規定されているところであり、各学校においても家庭・地域と連携しながら、さらなる人権教育の推進に取り組んで行かなければならないと思っております。

6 兵庫県立学校・市立高等学校教頭協会総会・研究協議会（5/24）

5月24日、兵庫県の高等学校教頭協会の総会が、三田市を会場市として郷の音ホールで開催されました。県教育次長や阪神教育事務所長はじめ県教委の皆さんと共に、来賓として参加してまいりました。

高等学校運営の要としての教頭先生が県内各地域から三田にお越しいただき、本年度の活動方針等協議されたわけですが、多くの三田の子どもたちが、県内の公立高校にお世話になっているところであり、当協会の更なる発展充実を期待するところです。

7 第53回兵庫県中学校退職校長会総会・懇親会（5/26）

5月26日には、第53回目の兵庫県中学校退職校長会の総会が、丹有地区が当番ということで、三田市で開催され、その懇親会に県西上教育長をはじめ県教委の皆さん、丹波市・丹波篠山市の教育長とともに参加いたしました。

みなさんとてもお元気で、三田の中学校を退職された校長先生も多く参加されておりました。退職後も地域の学校教育支援や子どもたちのために活動されている、また社会貢献活動にも従事されています。学校現場はもとより、地域社会でもこのような皆さんの支えがあってこそと、改めて感じたところです。

8 震災・学校支援チーム（EARTH）運営委員会（5/27）

5月27日に、姫路市の県都市教育長協議会会長の代理として、副会長の私が、県民会館会議室で開催された、震災・学校支援チーム（EARTH）運営委員会に出席してきました。

EARTHは阪神・淡路大震災時、避難所となった学校へ県内外から多くの教職員に支援されたことを教訓に、教職員による災害時の学校支援組織

として平成12年度に発足した兵庫県独自の組織です。

昨年は本当に災害が多く、大阪北部地震、岡山県7月豪雨、北海道胆振(いぶり)東部地震の3つの災害に、述べ147名が活動いたしたとのことです。現在は、班員は220名と昨年より増加しています。

本年度、災害支援としての活動自体は少なくなることを願うところですが、今年度は阪神淡路大震災から四半世紀、25年を迎えることとなります。阪神淡路を経験していない教員も増えてきたということで、震災を風化させないためにも、教員自身もその記憶・経験をつなぎ、学び続けていかなければならないと感じたところです。

私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 教育委員会規則及び教育委員会規程の制定又は改廃を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第11号】

議案第21号「三田市立学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に係る補償基礎額等を定める規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長
(山本 直也)

議案第21号「三田市立学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に係る補償基礎額等を定める規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問などはございませんか。

今回は、改定額が非常に上がっています。

○教育委員
(吉田 礼子)

それについて、掛け金は上がっているのですか。

○学校教育課次長
(外岡 明文)

基本的に公務災害は、年間何人という形で掛け金を支払っています。非常勤の方は、除外されていると記憶しております。掛け金の状況については、調べてお答えします。

(教育委員会定例会終了後、「掛け金なし」を確認し、報告。)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問などはございませんか。
なければ、このように承認します。

日程第7 報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第13号「令和元年度 三田市地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長
(山本 直也)

報告第13号「令和元年度 三田市地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(吉田 礼子)

「トライやる・ウィーク」の実施概要の所で参加人数が記入されていますが、不登校等で参加出来なかった生徒の人数は、把握していますか。

○学校教育課長
(山本 直也)

今年度につきましては、活動実施中という事で把握出来ておりません。昨年度につきましては、不登校の中学2年生26名のうち、5日参加出来た生徒が15名となっております。今年度の参加生徒数841名は不登校生徒を含む在籍人数です。

○教育委員
(吉田 礼子)

わかりました。ありがとうございます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問ございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

ひまわり特別支援学校の生徒1人とありますが、どのような分野の事業所で体験活動をしていますか。

○学校教育課長
(山本 直也)

ひまわり特別支援学校生徒の活動事業所は、出身小学校と聞いております。

○教育委員
(田口 文夫)

小学校ですね。わかりました。あと12ページの自尊感情の高揚とありますが、我々もよくこの言葉を使いますが、去年の生徒指導の講演会で、文科省の方は、自己有用感という言葉を使うと言っていました。山本課長の説明でも、自己有用感という言葉で説明をしていましたし、12ページでは、自尊感情と説明している。どちらを使っても同じだと思うのですが、時代の流れとしては、自己有用感を使う方が多くなるのではないのでしょうか。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

自尊感情はもっと大きなくくりでして、その中に自己有用感・自己肯定感があり、1つの要素として表しています。自己有用感・自己肯定感を高める事で、自尊感情全体も高めるという意味合いで使われています。

○教育委員
(田口 文夫)

わかりました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

特別支援学級の生徒が、どのように活動事業所を決めているのかを知りたいです。

○学校教育課長
(山本 直也)

全ての生徒が、保護者などと相談しながら、自分の希望を定めていきます。特別支援学級の生徒達に関しては、活動事業所の向き不向きがありますので、限られた事業所での活動となります。出来る限り生徒の希望を叶える事が出来るような体制、例えば指導ボランティアを伴うなどして、生徒の希望する所で活動できる事業所を決定しています。

○教育委員
(三木 尚美)

主体的に自分の意見がなかなか言い出せない生徒が多いと思うので、生徒の希望を引き出して、事業所を決定出来るようにして頂きたいです。また、受け入れ先の事業所を増やして欲しいと思いま

す。

○学校教育課長
(山本 直也)

三木委員の要望をトライやる・ウィーク担当者会で伝えます。また、これからも生徒の希望を実現できるように努力していきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に、何かございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

医療的ケアが必要な生徒についてですが、「医療的」という言葉で、事業所が難しく考えてしまい、理解が得られにくい。そのため、活動事業所が限られています。幅広く事業所に受け入れられるように、事業所への啓発活動をして頂くと嬉しいです。

○学校教育課長
(山本 直也)

各事業所については、事前に、教員・各学校のトライやる・ウィーク推進委員・保護者の方々が、打ち合わせや登録のお願いに行っています。幅広く事業所の受け入れ体制が整うように努力をしています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に、何かございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

受け入れ事業者として登録させて頂いています。事業所に行くのにタクシーを使う生徒と、バスを使う生徒がいます。確かに、タクシーを使わなければならない不便な事業所もあると思います。こちらは、バスの時刻に合わせて、生徒達に来てもらうように配慮していましたが、1回送り迎えにタクシーを使用していることがありました。予算も限られていると思いますが、そのあたりはいかがですか。

○学校教育課長
(山本 直也)

基本は公共交通機関を使うことが前提です。ただ、時間や安全を考慮して、タクシーを利用することを認めています。安全を考えながら公共交通機関を使うことを原則としています。予算については、市の補助金があり、保護者の負担にならないようにしています。

○教育委員
(中上 之仁)

わかりました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に、何かございますか。
ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第14号「6月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

報告第14号「6月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

6月18日の公立高等学校合同説明会ですが、公立高等学校とありますが、三田市の高等学校のみなのか、神戸市北区の高等学校も含まれるのかどちらですか。

○学校教育課長
(山本 直也)

今年度は、三田市内県立高等学校4校と別枠で、定時制高校の説明会となります。第二学区は、各々で説明会をするので、説明を聞きに行くこととなります。また、第二学区の方達が、三田市の説明会に来ることとなります。

○教育委員
(田口 文夫)

わかりました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。
ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、6月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いたします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

6月教育委員会定例会の開催日時は令和元年6月28日(金)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしく願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
中学校代表より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(薩摩 高志)

○学年行事について
毎年、各中学校では、5月から6月初旬にかけて学年行事を実施しています。
今年度も1年生の転地学習は、全中学校が5月に終了しました。中学生として最初の宿泊行事をどの学校の1年生も元気に活動しました。3年生の修学旅行は、5校が5月中に終了し、残りの3校は6月初旬の実施に向けて準備をしています。行き先は、沖縄方面と長崎方面とに二分しています

○「トライやる・ウィーク」の実施について
2年生の「トライやる・ウィーク」が、今週(5/27)から2週間、Ⅰ期とⅡ期に分かれて実施します。活動の意義や社会人としてのマナー・ルールなどを事前に学習し、終了後は新聞づくりやプレゼンテーションなど、学習発表の場を設けていきます。

○熱中症対策について
衣替えの時期を迎えています。各校では熱中症への対応を確認したり、運動部活動は三田市中学校総合体育大会へむけてのトレーニングを重ねており、三田市中学校体育連盟では、大会運営における熱中症対策の強化を重点的に取り組んでいます。

○中間考査について
今年度は、1学期に中間考査を実施しない学校が大半を占めました。実施はわずか1校でした。授業時数の確保や業務改善などへの取組です。期末考査は、全中学校で6月中旬から下旬に予定しています。

○小学校校長代表

○小学校長会について

小学校長会として、本年度初めての報告となります。よろしくお願いいたします。

本年度小学校は、新任校長3名（内1名女性）を迎え、新しい体制で進めております。

三田市教育委員会とも一層密接に連携を図り、課題を共有しながら取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

4月と5月に、定例の小学校長会を開催し、組織づくりをし、本年度の取組等について話し合いを進めています。校長会では、昨年度から連合体育大会の運営上の課題について検討を続けています。本年度は『連合体育大会検証委員会』を立ち上げ、体育担当者会と連携しながら、連合体育大会の在り方について検証しています。現在は、検証委員会が改善案を作成しており、本年度の連合体育大会は改善を加えた実施要項での検証大会と位置づけて実施する予定です。

校長会の研修としては、5月に兵庫県小学校長会、並びに阪神小学校長会の総会と研修会が開催され、参加して参りました。県の研修会では、『学校における働き方改革の今』という演題で、学校業務改善アドバイザーの妹尾昌俊（せのお まさとし）さんの講演を聞きました。また阪神の研修会では、大阪大学大学院の小野田正利（おのだ まさとし）さんから、「学校と保護者のいい関係づくり」という演題で、特に保護者対応が難しいケースについて、事例を参考にお話しして頂きました。どちらの研修会も、今、まさに私たちが頭を悩ませていることに大いに答える内容であり、大変有意義な研修会でした。

○学校行事について

先週の5月25日（土）には、10校の小学校で運動会を開催いたしました。教育委員様はじめ教育委員会事務局の皆様には、公私ご多用の中、ご臨席賜りありがとうございました。

5月にしては記録的な暑さとなりましたが、各校とも熱中症対策には万全を期し、大きな事故や怪我なく、無事に終了することができたと聞いています。

組体操も、改定されたガイドラインに沿って安全第一で演技を行いました。演技内容は、技の高さに頼ることなく、集団行動の美しさをみせるなど、今まで以上に工夫が凝らされていたと感じました。保護者からも理解を得ることができ、好意的な感想をたくさんいただいています。今週の6月1日（土）には8校が、藍小学校と母子小学校の2校は9月に開催予定となっています。

○「トライやる・ウィーク」の受け入れについて
ほとんどの小学校で「トライやる・ウィーク」の受け入れを行っています。数ある事業所の中から小学校での実習を選んだ生徒たちには、将来教職を希望する生徒も多くいます。「魅力と働きがいのある職場としての小学校」を体験してもらえるよう、努力したいと思っています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
その他何かございませんか。
それでは、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会いたします。